

みんなあつまれ、あしかがしぎかい

しぎかいひろば

CONTENTS

特集

市議会がしっかりチェックします
足利市の令和4年度予算

- ④ こんな結果になりました！
- ⑤ こんなことを聞きました！
- ⑩ 密着！あしかがしぎかい
- ⑫ ぎかいにとどけ！わたしたちのこえ

あしかが
市議会だより

No. 362

2022.5



します



予算審査特別委員会の様子



令和4年度の予算説明書

予算は市長が作成し、それを住民の代表である議会が審査し議決することによって成立します。そのため、一般会計や特別会計など足利市の令和4年度予算として示された230ページに及ぶ予算書等を、2日間にわたり、合わせて約13時間かけて、丁寧かつ慎重に審査を行いました。



予算を丁寧かつ慎重にチェック

予算審査特別委員会の
委員長にインタビュー
しました

予算について 市議会の役割とは

予算は市長が案をつくり、市議会がしっかりとチェックして決定します。特に令和4年度の一般会計の総額は537億円で過去3番目に大きな規模でしたので、委員長として責任の重みを感じました。

どのような審査を行いましたか

令和4年度の予算は、市制100周年を迎えた本市にとって次の100年に向けてスタートするための重要な予算です。新型コロナウイルス感染症対策や産業力の向上、人口減少対策といった山積する様々な課題への対応など、

予算とは？

足利市に1年間に入ってくるお金である収入と、その使い道である支出の見積もりのことをいいます。

予算審査特別委員会とは？

市長から提出された予算案を審査するため、全議員を構成員として設置される特別委員会のことをいいます。足利市議会では毎年3月定例会に設置されます。



令和3年度委員長
柳 収一郎



副委員長
鶴貝 大祐

市議会がしっかりチェック 足利市の令和4年度予算



2日間をかけて慎重に審査しました。

新しい取り組みは

議論を深めるため、新たに予算全体の基本的な考え方を質疑する場として、「総括質疑」を設けました。市長の予算編成に当たったの思いを問うなど、政策的な議論を行うことができたと思っています。

市民の皆さんへ お伝えしたいことは ありますか

市民の代表として私たちの税金がどのように使われるのか、本当に必要なお金なのかといった視点から入念な審査を行いました。これからも足利市の発展のため、皆さんの声に耳を傾け、市政に反映できるように努めます。

特別会計とは？

介護保険や国民健康保険などの特定の目的のため、保険料や使用料などの特定の収入で運営していく事業の会計のことをいいます。お金の出入りをはっきりさせるため、一般会計と別に管理しています。

一般会計とは？

市の基本的な仕事（福祉、教育、ごみ処理、道路整備、消防など）を行うための会計のことをいいます。

こんな結果になりました！

令和4年第1回臨時会は1月20日の1日間、第2回定例会は2月24日から3月24日までの29日間行いました。提出された議案など合わせて50件について、慎重に審議しました。



会議結果



審議結果



録画配信

市長から提出された議案等 45件

議員から提出された議案等 5件

注目議案を
Pick Up!

総務企画防災常任委員会

Q

返礼割合が3割を超える返礼品や地場産品と関係のない返礼品が問題となり、国会で議論され、新たなルールができたが、地域振興も含めた本市の基本的な考え方を聞きたい。

A

寄付額の3割以内とすることなど、国のルールの中で、市内企業へふるさと納税制度を周知して返礼品を広げ、販路拡大の機会をつくりたい。また、体験型の返礼品等をつくり、地域振興につなげたい。

国民健康保険特別会計繰出金など、補助事業および単独事業の追加、繰越明許費および債務負担行為の追加をするため、歳入歳出予算に1億500万円を追加し、予算総額を585億1300万円にしようとする補正予算についての審議を行い、原案のとおり可決されました。

PickUp 1
議案第6号
令和3年度足利市一般会計補正予算(第12号)について

民生環境水道常任委員会

Q

高額介護サービス費とはどのようなものか。また、どのような世帯が対象となるのか。

A

要介護者などが1か月に支払った介護サービスに係る利用者負担額の合計が、世帯合計等で一定条件を超えたときに、申請により一定額を超えた額を払い戻すので、所得区分ごとに負担の限度額が異なる。

居宅介護サービス給付事業費などを追加するため、歳入歳出予算に2億5000万円を追加し、予算総額を139億8540万円にしようとする補正予算についての審議を行い、原案のとおり可決されました。

PickUp 2
議案第14号
令和3年度足利市介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第2号)について

教育経済建設常任委員会

Q

足利市民会館の閉館に伴い足利市民プラザの利用が増え、一般市民の利用が難しくなることが予想される。市民サービスを低下させないように利用調整が必要になると思うがどうか。

A

利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響から徐々に回復しており、市民ニーズに合うように調整していきたい。民間施設の借り上げ等について、指定管理者と協議しながら進めていきたい。

地方自治法の規定に基づき、公の施設である足利市民プラザ及び足利市男女共同参画センターの指定管理者を指定することについて審議を行い、原案のとおり可決されました。

PickUp 3
議案第25号
足利市民プラザ及び足利市男女共同参画センターの指定管理者の指定について

こんなことを聞きました！

市政を問う一般質問を開催 市民の思いを胸に、15名が登壇

まちの課題などについてさまざまな視点から議員がまちの考えを聞く一般質問。ここでは各議員の質問をダイジェストでお伝えします。二次元コードから録画配信をご覧ください。

議員	会派名 氏名	録画 配信
質問	議員の質問	
回答	市長などの回答	
ひと言	質問に込めた思いなど	



万和クラブ

さいとう まさゆき
齋藤 昌之



指定管理者制度の運用見直しを！

質問

今後の指定管理者の募集に当たり、募集条件を検討する必要がある。現在、市有施設の管理を受託している外郭団体の真の自立と健全経営という観点から、これからの本市における指定管理者制度の運用の在り方を再検討すべきと考えるがどうか。

回答

指定管理者制度の導入から16年が経過し、市有施設の管理方法を再検討すべき時期にあると考えている。今後、多くの市有施設を管理する外郭団体に対する本市の関与の在り方を検討するとともに、委託方法や募集条件、料金設定などを見直し、最適なサービスを提供できるように取り組む。

ひと言

指定管理者制度の趣旨を徹底し、外郭団体の今後の在り方を再検討すべきです。



あしかが自民党議員会

わたなべ さとる
渡辺 悟



3回目の新型コロナウイルスワクチンの接種推進を！

質問

令和3年12月、医療従事者や高齢者施設入所者等を優先して3回目の新型コロナウイルスワクチンの接種を開始した。令和4年に入り、本格的にワクチン接種が行われているが、現在の状況および今後の予約状況の予測について聞きたい。

回答

令和4年3月7日現在、約3万7,000人が接種済みであり、接種率は26%である。高齢者の接種は3月中の完了見込みであり、今後64歳以下の方が接種の中心となる。年齢が若くなるにつれて接種率が低下する傾向にあるため、ホームページやSNSを活用して3回目接種の必要性を周知していく。

ひと言

コロナ対策は3回目のワクチン接種が鍵となるため、積極的な周知を期待します。



公明党議員会

とみ なが えつ こ
富永悦子



人口減少対策としての結婚支援の推進を！

質問

2020年の婚姻数は戦後最少であった。婚姻数の減少による出生数の減は、総人口の減少をもたらし、長期的に経済や社会を大きく変える重大な出来事である。婚姻数が減少する中、結婚支援は重要であると考えますが、今後どのように推進していくのか。

回答

令和2年度の市民アンケートの結果では、結婚への不安や問題として、出会いの機会の不足や結婚・生活資金の不足などが挙げられていた。こうした不安を解消するため、結婚支援センターでの出会いの場の充実や、婚姻に伴う住宅費用などを支援する事業に取り組み、少子化対策を推進する。

ひと言

結婚の希望はあるが交際や結婚にあと一步を踏み出せない方への支援が必要です。



織姫クラブ

くろ かわ よし お
黒川 貴男



運転免許証を返納した高齢者への取り組みを！

質問

運転免許証の返納は、公共交通手段の乏しい地方に暮らす高齢者にとってハードルが高く、要介護状態になるリスクの上昇や社会参加の減少につながるといった懸念がある。車社会における高齢者の現状と免許証返納後の高齢者への取り組みを聞きたい。

回答

本市の65歳以上の高齢者のうち、7割近くの方が運転免許証を保有している。高齢者の免許証返納促進と返納後の移動手段の確保策として、本市では生活路線バスの回数券の交付や運賃の割引、介護保険制度を活用した生活支援サービスを行っており、今後も公共交通の在り方を検討していく。

ひと言

デマンド交通と組み合わせ、きめ細かい公共交通の構築に努めるべきと考えます。



織姫クラブ

おお たに や よ い
大谷 弥生



消防団を中核とした地域防災力の充実強化を！

質問

令和3年4月、総務省消防庁長官より通知された「消防団員の報酬等の基準の策定等について」では、非常勤消防団員の報酬等の基準などが示された。同通知は団員の処遇の在り方を大きく変える内容であるが、本市はどのように受け止めて改善していくのか。

回答

同通知を重く受け止めており、地域防災の中核として活動する消防団員の苦労に報いるには、処遇改善に取り組むことが重要であると認識している。令和4年度から消防団員個人へ報酬等の支給を開始するほか、出動手当等についてもより適正な支給を行うため、消防団と協議を行っていく。

ひと言

団員が地域全体から応援され、感謝をされていると実感できる取り組みも必要です。



万和クラブ

おお す が ゆ き お
大須賀 幸雄



新クリーンセンターに発電設備を設置して最大限に活用を！

質問

地球温暖化の防止には、太陽光などの再生可能エネルギーの活用が寄与すると考えている。新クリーンセンターの建設では、ごみの焼却により生み出される蒸気を使用する発電設備を設置し、再生可能エネルギーとして有効活用すべきではないか。

回答

第3次足利市環境基本計画では、脱炭素社会と循環型社会の実現を基本目標としている。新クリーンセンターでは、これまでの場内や場外での熱利用に加え、ごみの焼却により発生する蒸気を利用した発電も新たに計画している。蒸気を有効活用できるように着実な整備に向けて取り組んでいく。

ひと言

ごみを再生可能エネルギーとして活用し、化石燃料の消費が減ることを望んでいます。



あしかが自民党議員会
やなぎ しゅう いち ろう
柳 収 一 郎



各種届け出の窓口を一本化して ワンストップ窓口の実現を！

質
問

過去、多くの議員から要望のあったワンストップ窓口、いわゆる出生、死亡、転入・転出といった届け出に伴う手続きの窓口一本化は、市民の期待も大きいと考えている。令和4年度の組織改正は市議会の意見を反映してもらえたと思うが、ワンストップ窓口の実現見通しについて聞きたい。

回
答

窓口を1カ所に集約することで複数の手続きが一度で完結し、市民の利便性向上が期待される。国は、令和4年度末までに子育てや転出・転入などの複数の手続きをオンラインで完結するワンストップサービスを実現する方針である。本市もデジタル技術を活用し窓口業務の改革を推進していく。

ひ
と
言

市民にとって長年の要望であるため、実現に向けた取り組みを期待しています。



万和クラブ
すえ よし とし ひろ
末 吉 利 啓



市民の命と生活を守るために 市役所庁舎更新の議論を！

質
問

熊本地震で被害を受けた宇土市役所は、本庁舎の損壊だけであったにも関わらず、隣接する別館と福祉センターも本庁舎倒壊の危険性から立ち入り禁止となった。本市も未耐震の本庁舎や別館、教育庁舎が隣接しており、同様の影響があるのではないかと懸念している。

回
答

本市においても同様のリスクが想定され、被害の発生時には危険度の判定を行い、庁舎の使用可否を判断する。平成29年度に策定した足利市業務継続計画、いわゆるBCPでは、市役所自体が被害を受けて本庁舎の使用が困難な場合には、消防本部などの市有施設を使用することとしている。

ひ
と
言

改修の見積もりや調査を進め、議論の土台となる資料を早急にそろえるべきです。



公明党議員会
ふじ もと ひで き
藤 本 秀 樹



地域活性化の取り組みとしての eスポーツの推進を！

質
問

eスポーツは、年齢や性別、国籍、障がいの有無にかかわらず、誰もが参加できることから、共生社会や多様性社会の実現に大きく寄与すると考える。コロナ禍においても企業活動や地域の活性化につながることから本市でも推進すべきではないかと懸念している。

回
答

共生社会や多様性社会の実現に寄与する可能性を感じており、周辺産業への波及効果が大きく、今後の成長が見込まれる。いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会で開催が予定されているeスポーツ選手権の状況や民間事業者、先進自治体の動向を注視し、さまざまな角度から研究を進めていく。

ひ
と
言

eスポーツを推進していくことが本市の新たな活力の創出につながると考えます。



あしかが自民党議員会
なか じま ま ゆみ
中 島 真 弓



出産お祝い金制度を導入し、 子育て世代に優しいまちへ！

質
問

子育て世代の課題解決に前向きに取り組む必要がある中、安心して妊娠、出産をしてもらうため、子育てを応援するまちとして、出産お祝い金制度を取り入れるべきと考える。子育て世代に優しいまちの実現に向けた今後の展望を聞きたい。

回
答

本市は妊産婦医療と比較して、出産後の子育て支援が充実しているとは言えない状況である。議員ご指摘の出産お祝い金などの給付型の支援制度は、子育て世代に優しいまちづくりを進めていく上で必要な施策であると考えていることから、実施に向けて検討を進めたい。

ひ
と
言

本市の発展に向け、子育て支援を拡充させた子ども中心のまちづくりを期待します。



万和クラブ

つる がい だい すけ
鶴 貝 大 祐



子どもたちの家庭学習に対し、 きめ細やかな支援を！

質
問

コロナ禍で子どもの教育の多くが家庭に委ねられる状況になったことにより、多くの調査機関等が学力格差の拡大を指摘している。家庭環境により計画的な学習が困難な子どもに対し、オンライン学習等を利用したきめ細かい対応が必要ではないか。

回
答

子どもたち一人一人に個別最適な学びを提供するため、オンライン学習をはじめICTを有効活用し、個に応じた指導を展開していくことが重要である。オンライン授業などICTの持つ可能性を子どもへのきめ細やかな指導や支援に生かすことに一層努めていきたい。

ひ
と
言

学級閉鎖等が相次ぐ中、オンライン学習などで家庭学習を支援する体制が必要です。



あしがが自民党議員会

すぎ た ひかる
杉 田 光



周辺住民も期待を寄せる 道の駅整備で本市の活性化を！

質
問

第8次足利市総合計画前期基本計画の分野別計画に多機能型駐車施設の整備が盛り込まれている。道の駅は休憩機能のほか防災や情報発信など様々な効果が見込まれることから、国や民間事業者との連携などによる整備が期待されるが所見を聞きたい。

回
答

国道50号沿線の瑞穂野町を候補地とする道の駅の整備は、地域振興や観光振興、防災など多くの効果が期待される。今後、本市の特色を生かした道の駅の在り方について、国や県の助言をもらいながら、民間活力などを活用した整備手法を含め、調査・研究していきたい。

ひ
と
言

本市全体に様々な効果が見込まれる道の駅整備は、周辺住民から期待されています。



会派を構成しない議員

とり い やす こ
鳥 井 康 子



新型コロナウイルス感染症の 検査拡大を！

質
問

児童生徒の感染が確認された場合、以前は同じクラスや部活であれば行政検査としてPCR検査を受けられたが、現在は中止されている。市で唾液検査キットを購入して配布するなど、児童生徒の感染発覚時に検査を受けられる体制を整備できないか。

回
答

児童生徒の感染を把握した際は、感染拡大を防ぐため、本人の行動履歴を確認し、その結果をもとに学校医と相談しながら濃厚接触者等の特定を行い、必要に応じて医療機関の受診を勧めている。市としての検査キットの購入については、他市の取り組み状況等も参考にしながら研究していく。

ひ
と
言

第5波と比較してPCR検査の件数が増えていないことに不安を感じています。



会派を構成しない議員

お ぜ き えい こ
尾 関 栄 子



新型コロナウイルス感染拡大防止のため に情報共有体制の構築を！

質
問

感染拡大や重症化を防ぐためには、ワクチン接種やPCR検査の拡充に加え、関係機関との情報共有体制の構築が必要であると考えているが、市内の学校や施設等でクラスターの発生時、医師会や高齢者施設などへ情報の提供や共有はされているのか。

回
答

市民に情報をしっかりと伝える必要があると考えており、県に対して市内感染者の状況についての情報提供を要望した。学校で感染者を確認した際には教育委員会からSNS等を活用して周知を行い、施設等でクラスターが発生した際には医師会と情報共有を行い、まん延防止に努めている。

ひ
と
言

県に対し、感染情報を足利市医師会などの公的機関へ周知することを求めました。

用語解説

3月定例会の気になる用語を解説

指定管理者制度

公園や文化施設などの公の施設をノウハウのある民間企業等に管理してもらう制度です。市民サービスの向上やコスト縮減等を図るために創設されました。施設の管理は議会の議決によって指定された「指定管理者」が行います。

eスポーツ

エレクトロニック・スポーツの略で、ビデオゲームやコンピューターゲームを使った競技のことです。近年、世界中で大きな盛り上がりを見せています。

決議

議会の意思を表明するために行う議決のことです。



あしかが自民党議員会

す だ みず ほ
須田 瑞穂



教育行政について問う！

質問

早川市長は、教育分野についてもさまざまな政策をお持ちであるが、市長の考える教育論について聞きたい。

回答

あくまでも私個人の思いであるが、本市で生まれ育った子どもたちが勉強や運動、ICTなどに前向きに思い切って取り組める環境を整えたいと考えている。教育の機会の平等を守り、教育委員会と共に子どもたちの利益を最優先に考え、可能性を広げる熱意ある教育行政を展開していきたい。

ひと言

教育分野についても市長のリーダーシップに期待しています。

今 回のコラムは、3月定例会で行った2つの決議を中心に振り返りたいと思います。

まず、中橋の早期架け替えを求める決議です。中橋付近の堤防は計画の高さから大きく切れ込んでいるため、重要水防箇所の中でも特に危険度が高いAランクに位置付けられています。現在、国・県・市で進めている中橋付近の堤防かさ上げと中橋の架け替えは、市民が安全・安心に暮らせるまちを築いていくためには欠かすことのできない事業であり、歴史的・文化的資産である史跡足利学校や鑿阿寺を守り受け継いでいくためにも重要です。近年、全国で発生している記録的な豪雨に鑑みると、一日も早く事業に着工し、早期の完成を目指すべきであることから、定例会初日（2月24日）に全議員が提案者となり、決議しました。

次に、ロシアによるウクライナへの侵攻に抗議する決議です。2月24日に始まったロシアによるウクライナへの軍事侵攻は、多くの犠牲者を出すとともに、日本が位置するアジアを含む国際社会の秩序の根幹を揺るがしかねない極めて深刻な事態であり、平和都市宣言を行った本市として、断じて容認できません。そのため、政府に対し適切な対応を要請すべく、一般質問1日目（3月8日）に全議員が提案者となり、決議しました。

最後になりますが、令和4年度は8年間の新たな総合計画及び早川市長就任後の初の予算がスタートしました。今後も議会が担う責任を重く受け止め、役割をしっかりと果たしていきます。



議長コラム 足利市議会議員 栗原 収

3月定例会を振り返って

密着！あしががしぎかい

3月定例会では、会期中に東日本大震災の発災から11年の節目を迎え哀悼の意を表すとともに、全国でも珍しい山林火災を予防するための条例を審議するなど、「災害」にまつわる二つの出来事がありました。そこで、今回は、その内容と関連する市議会の取り組みについてお知らせします。



3月11日、午後2時46分。市議会本会議の一般質問3日目、足利市議会は東日本大震災を忘れることなく、亡くなられたすべての方々のご冥福を祈り、議場で黙とうを捧げました。



山林火災から足利市を守るために
昨年、2月21日に発生した足利市西宮林野火災は、鎮火に至るまで23日間を要し、連日様々なメディアで報道されるなど、大規模な火災となりました。

この山林火災の教訓を忘れることなく後世に伝えるとともに、二度と発生させることのないように火災予防に努めるほか、防災体制のより一層の充実を図るため、令和4年3月定例会に山林火災防止に特化した全国でも珍しい条例である「足利市の美しい山林を火災から守る条例」が上程され、市議会は全会一致で議決しました。

視察の現場から

足利市消防本部が導入した新装備を使用した訓練を視察

本年2月2日、万一の事態に備え、迅速な対応ができるように、足利市消防本部は新たに導入した林野火災にも活用できる可搬ポンプ等の装備を使用し、昨年の火災現場における放水活動訓練を実施しました。



山林火災を発生させないために、足利市の消防力の一層の強化が図られるこの機会を、私たち足利市議会は見届けてまいりました。

市議会の業務継続計画

(市議会BCP)

災害発生時に備える私たち市議会の取り組みについてお知らせします

足利市議会の備えについて

足利市議会は、令和元年東日本台風の被害を受ける約1年前の平成30年9月に、大規模な災害を想定したBCP(業務継続計画)を策定しました。

市議会BCPとは？

大規模な災害が発生した時、市民の生命と財産を守るため、あるいは必要な支援を実施するため、市は様々な手立てを講じることになりますが、そこには、最終的に議会の議決が欠かせないものもあります。

こうした事態においても、市議会として、責任を持って役割を果たすため、非常時における市議会の体制を整えたものが「足利市議会災害時業務継続計画(市議会BCP)」です。

具体的には

基本方針として、3本の柱があります。

①災害時においても市議会としての役割を適宜適切に果たすことのできるようにするための「議会機能の早期回復」。

②市議会議員としての役割を再確認するための「議員の行動指針」。

③災害対応に当たる行政が機動的に対応に専念できるように、市議会として力強く支援するための「市との相互連携」です。

大規模な災害が発生した場合には、市議会は災害対策支援本部を設置して、議員の安否を確認する(議決に必要な議員の数である定足数を確認するため)とともに、地域の災害状況の把握に努めます。行政が迅速かつ適切な災害対応に専念できるよう

に、必要な協力と支援を行うと同時に、支援本部では計画に基づき、市民生活の安定に必要な議案などの審議が滞ることのないように取り組むこととしています。

また、災害はどのような状況で発生するか分かりません。様々なケースを想定して、議員が対応できるように、計画を定めています。

計画を立てた後の取り組みについて

市議会BCPに基づき、毎年度、足利市の災害対策訓練に合わせて、対策訓練を実施し、災害時の初期活動等を確認して見直しを行っています。こうした取り組みが評価され、令和3年1月に全国市町村国際文化研修所において、全国の市議会議員等に講演をしました。

訓練の様子を確認して

当日は強風の中、数えきれないほどのたくさんの方の消火用ホースを伸ばして、連結を繰り返して、重装備を担いで足場の悪い登山道を駆け上がる消防職員の姿がありました。迅速に任務を果たそうと懸命に取り組む様子を目の当たりにするとともに、ふるさと足利応援寄附金によって、新たに整備された装備を確認することができ大変頼もしく感じました。



安心安全のまちづくり

これからも、安心安全のまちを実現するために、市議会としても引き続き全力で取り組んでまいります。

ぎかいにとどけ！ わたしたちのこえ

昨年行われた「高校生議会」を題材に制作した私たちの作品が、栃木県代表として、文化部のインターハイといわれる「全国高等学校総合文化祭（総文祭）」に出品されます。この取材を通して議員の方々の人柄に触れ、私たちの目線に合わせて話を聞いてくださる姿に親しみと頼もしさを感じました。

私たち高校生も含め、若い世代は政治に対して無関心や受け身になりやすいと感じます。そこで議員さんに学校に来ていただき、議会の魅力や議員としての仕事のやりがいなどをお話しいただけると、興味を持つ若い世代が増えるのではないかと考えます。



作品は
こちらから



足利大学附属高等学校 放送部

1、2年生合わせて11名(令和4年3月現在)が「楽しみながら好きなことを続ける」をモットーに活動。年間約20本の作品を手がけ、試行錯誤の中で技術を磨く。近年、NHK杯や総文祭等の全国大会に出場するようになり、県内有数の強豪校として知られるようになった。

6月定例会のご案内

日	月	火	水	木	金	土
5/22	23	24	25	26	27 本会議 (初日)	28
29	30	31	6/1	2	3	4
5	6	7	8 本会議 (一般質問)	9 本会議 (一般質問)	10 本会議 (一般質問)	11
12	13 総務企画防災 常任委員会	14 民生環境水道 常任委員会	15 教育経済建設 常任委員会	16	17	18
19	20	21 本会議 (最終日)	22	23	24	25

足利市議会
を知る



傍聴方法
を知る



ネット中継
を見る



会議録
を見る



編集 後記

今号の特集ページでは予算審査特別委員会について、市議会の役割や協議の内容などをお伝えしました。全国的に少子高齢化や人口減少が進み、新型コロナウイルス感染症の収束も見通せない中で、本市では公共施設の老朽化への対応や産業の活性化などの多岐にわたる課題に直面しています。一方で歳入の根幹となる税収の伸び悩み状態が続いており、市の貯金に当たる

基金残高の減少等が見込まれるなど、本市の財政状況は依然として厳しい状況にあります。そのような状況においても、最小の経費で最大の効果を上げられるよう、議会と執行部との間で多くの議論を交わすことで、本市の発展に努めてまいります。

(広報広聴常任委員会広報部会 大須賀 幸雄)

